



新規コミュニケーションサービス

令和7年1月8日

黒田 毅

統一アドレスにおいて、すべてのコミュニケーションサービスを統合し、IoTにおける新規コミュニケーションサービスの構築を提案したい。

これらはIP固定電話、携帯電話、SMS、電子メール、テレビ電話、テレビ会議、FAXを統一IDにおいて統一し、アプリケーションで振り分ける、IPにおける統一コミュニケーションサービスの提案を事業化したいと考える。

これらは、PCやスマートフォンを統合コミュニケーションサービスに連結することで、マイク、スピーカー、プリンターを利用した、新しいコミュニケーションサービスの構築が実現できるものである。

これらは次世代における通信とコミュニケーションサービスの規格として、統一されたアドレスにおけるそれらサービスの標準化とアプリケーションの整備をIoTにおいて提案できると考えるためである。

これらはホームコミュニケーションが統一アドレスにおいて聞きにおける振り分けや、PC環境におけるアプリケーションにおける振り分けを行い、内線において統一される通信環境を提案するものである。

IP電話における固定電話と携帯電話の統一、PCとプリンター、マイク、スピーカにおける固定電話とFAX環境の構築、固定電話とPC、携帯電話におけるテレビ電話環境の統一、SMSと電子メール環境の標準化などの提案を可能とできると考える。

家庭での利用は、端末をスクリーンと連動して、タブレットなどにおいてその画像やFAXのデータの管理の送付とともに、新しい通信機器を統一して提供することなどは、雑誌や新聞の送付を新たにデジタル化することなどとともに、サービスの確立と底wんを実現できると考える。